

# 大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた  
名品・名産・名所などの  
よかもんをご紹介します

## 田の神舞



としめき  
年貫神社  
南町436



ナビゲーター

年貫神社 宮司 田島和春さん  
たじまかずはる



10月に入り市内各地で稲刈りをする様子を見かけるようになりました。市内には「かぎ引き祭り」や「田の神像」など、稲作にまつわる行事や文化財がたくさんありますが、南町の年貫神社には稲の豊作を占う伝統的な舞「田の神舞」が残っています。今回は、年貫神社宮司の田島和春さんに田の神舞について紹介していただきました。



保存会が結成され、昭和46年には市の無形民俗文化財に指定されました。現在は鹿屋市消防団南分団の団員が中心となって保存活動などを行っています。

舞は、田の神、農夫、太鼓、旗持ちが登場し、次のような流れで行われます。

- ①農夫かにぎやかに話をしているところに、田の神が舞いながら入場
- ②農夫が田の神に今年の米の出来具合を尋ね、田の神が「豊作間違いなし」と答える
- ③農夫が田の神に今年は何ばつの年か雨が多い年かと尋ね、

田の神が「千ばつの年なので雨を降らせよう」と答える

④農夫がお礼として田の神に餅を差し上げ、退場

この舞は農夫と田の神のアドリブを交えた鹿兒島弁による珍問答が特徴で、特に田の神が持つ『よんごめしげ(曲がったしゃもじ)』についてやり取りする場面では、観客から大きな笑いが起こります。

舞の内容から推測すると、元々は田植え前の旧暦2月に行われていたものだと考えられますが、近年では神社の例祭日や町内の祝賀行事の時などに行っています。年貫神社には、田の神舞を含む45種の神舞が伝わっていました。現在は田の神舞以外は行われていません。

10月30日には、南町コスモス鑑賞会の中で田の神舞が披露される予定です。伝統ある田の神舞をぜひご覧ください。」